

平成30年度第10回定例  
松本市教育委員会会議録

松本市教育委員会

平成30年度第10回定例松本市教育委員会会議録

平成30年度第10回定例松本市教育委員会が平成31年1月24日午後3時00分教育委員室に招集された。

---

平成31年1月24日（木）

---

議 事 日 程

平成31年1月24日午後3時00分開議

第1 開 会

第2 教育長挨拶

第3 議 事

[議案]

第1号 平成31年度市立小中学校の授業日数について

第2号 平成30年度松本市公民館活動推進功労者について

[報告]

第1号 平成30年度行政改革（平成31年度実施）について

第2号 いじめ・体罰等の実施調査【10・11月】の結果について

第3号 学校給食における異物混入について

[周知事項]

1 平成31年松本市成人式の開催結果について

2 「未来へつなぐ 私たちのまちづくりの集い～第34回公民館研究集会平成30年度地域づくり市民活動研究集会～」の開催について

3 「発掘された松本2018—松本市遺跡発掘報告会—」及び20周年記念特別講演会の開催について

[その他]

〔出席委員〕

教 育 長	赤 羽 郁 夫
教育長職務代理者	市 川 莊 一
教 育 委 員	福 島 智 子
〃	山 田 幸 江
〃	橋 本 要 人

〔出席職員〕

教 育 部 長	矢久保 学
こども育成課長	青 木 直 美 (こども部長代理)
地域づくり部長	守 屋 千 秋
教育政策課長	小 林 伸 一
学校教育課長	麻 田 仁 郎
学校指導課長主任指導主事	濱 中 浩 (課長代理)
学校指導課指導主事	下 平 将 揮
東部学校給食センター課長補佐	三 沢 伸 和 (課長補佐)
生涯学習課長 兼	
中央公民館長	栗 田 正 和
中央図書館長	瀧 澤 裕 子
文化財課長	大 竹 永 明
松本城管理事務所長	関 隆 登 志 (所長代理)
美術館副館長	小 口 一 夫
博物館長	木 下 守
基幹博物館建設担当課長	中 原 和 彦

〔事務局〕

教育政策課	
教育政策担当係長	金 井 稔
教育政策課	
教育政策担当係長	堀 敬 子

《開会宣言》 午後3時00分

赤羽教育長は平成30年度第10回定例松本市教育委員会の開会を宣言した。

教育長 平成最後の年が始まり、早くも1カ月近くたちますが、今、学校ではインフルエンザが大流行しており、学年閉鎖・学級閉鎖が増加しています。県内では、小学校4年生の男子がインフルエンザ脳症のため亡くなったとの報道もあり、心配な状況にあります。市内でもインフルエンザにかかる職員が増えていますので、学校も含め、予防対策に万全を期していきたいと思えます。

さて、本日の定例会より、昨年12月26日付で教育委員に任命されました、橋本要人委員が加わり、新たな教育委員会が始まります。後ほどご挨拶をいただきますが、松本市教員委員会は明治期の開智学校創設以来、「すべての子どもに教育を」の理念のもと、学びの都「学都松本」の発展のために、今まで培われてきた広いご経験を生かして、私どもと共に力を発揮していただくようお願いいたします。どうぞよろしくようお願いいたします。

冒頭で、平成最後の年が始まったと申しましたが、平成の30年間で教育の課題はより顕著になり、混迷も深まった感じを持っています。しかし、教育は「希望に賭ける業」と言われるように、見える現実がどんなに困難でも、確かな根拠をもって未来への「希望」を洞察し、確信する眼差しを持ちながら、教育の場に生きる全ての人々を支えていけるような、そんな教育委員会を目指していきたいと思えます。どうか今年も皆様よろしくようお願いいたします。

それでは、橋本委員から一言ご挨拶をお願いします。

橋本委員 先ほどご紹介いただきました、橋本でございます。どうぞよろしくようお願いいたします。

12月の押し迫った時期に辞令を頂戴いたしまして、その後すぐ新聞記者から取材がありました。新聞記事をお読みいただいた方もいらっしゃるかもしれませんが、一言でいうと、私は教育行政に関しましては全くの素人でございます。私自身ずっと職場生活をしてきた中でモットーとしておりましたのが、「素朴な疑問を放置しない」ということを考えておまして、全くトンチンカンなことを質問したり困らせたりすることがあるかもしれません。当たり前のようにやっていることが素朴な疑問にぶち当たりますと、何でこんなことをやっていたのだろうということも出てくるかもしれません。そういった意味で素

人として貢献できれば一番ありがたいかなと思っておりますので、その点ご容赦いただきながら一緒に頑張りたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

教育長 昨年度、教育委員会としては「当たり前を問い直す」ということをスローガンに掲げていましたので、ぜひよろしくお願いいたします。

それでは、教育委員会の出席者の自己紹介をさせていただきます。

#### 【教育委員会職員 自己紹介】

教育長 それでは、3分間スピーチを小口美術副館長お願いします。

小口美術副館長 「最近感動したこと」について

教育長 ありがとうございます。

今回は手島松本城管理事務所長ですので、よろしくお伝えください。

#### 《会議録の承認》

教育長 平成30年度の第6回、7回の定例教育委員会の会議録についてはよろしいですか。

全教育委員 結構です。

#### 《署名員の指名》

本日の会議録署名委員は、福島委員、山田委員です。

#### 《議案審議》

教育長 本日の案件は、議案が2件、報告が3件、周知事項が3件です。

<議案第1号> 平成31年度市立小中学校の授業日数について

学校指導課主任指導主事 議案第1号「平成31年度市立小中学校の授業日数について」説明

教育長 ご質問、ご意見等ございますか。

現時点で夏休みを長くするというような論議が出ていますが、夏休みとの関係で何か補足等ありますか。

学校指導課主任指導主事 現在、概算で計算をしており、来年度の夏休みについては、例えば7月25日から夏休みに入ったとして、8月25日まで取れるのではないかと計算しています。ですから、土日を含めて一カ月程度の夏休みとなり、例年よりも少し長い夏休みになるのではないかと思います。

教育長 今年の松本市の夏休みの平均が27.4日でした。来年は概ね30日程度の夏休みが確保できそうだということです。

ご質問、ご意見等ありますでしょうか。

入学式はいつになりますか。

学校指導課主任指導主事 4月4日になります。

教育長 4月4日、木曜日ですね。松本市ではその前日が保育園、その後が幼稚園の入学式となっていますので、4月3日が保育園の入園式、4月5日が市立幼稚園の入園式ということですね。わかりました。

それでは、議案第1号につきましては、承認することとします。

<議案第2号> 平成30年度松本市公民館活動推進功労者について

生涯学習課長 議案第2号「平成30年度松本市公民館活動推進功労者について」趣旨、目的、推薦基準、功労者、感謝状の贈呈を説明

教育長 ご質問やご意見等はございますか。

無いようですので、承認することとします。

<報告第1号> 平成30年度行政改革（平成31年度実施）について

教育政策課 報告第1号「平成30年度行政改革（平成31年度実施）について」趣旨、取組状況を説明

教育長 ご質問、ご意見等ございますか。

無いようですので、報告第1号については承認することとします。

<報告第2号> いじめ・体罰等の実施調査【10・11月】の結果について

学校指導課主任指導主事 報告第2号「いじめ・体罰等の実施調査【10・11月】の結果について」趣旨、調査方法、調査結果の概要、傾向を説明

教育長 ご質問、ご意見等ございますか。

昨年の4月から9月までの状況と比べて特に変わったところがありますか。

学校指導課指導主事 3 調査結果の概要(4) いじめの現在の状況で、「解消」、「解消に向けて取組中」の割合が変わってきています。「解消」が520件で約46%、「解消に向けて取組中」が53%と解消の割合が高まってきている点です。

ただ、平成29年度の文科省調査では「解消した」と答えた全国の割合は85%近かったです。普通85%というといい数字かと思いますが、文科省の研修会では「これは多過ぎる」と逆に言われてしまいました、「簡単に解消するな」ということもご指導いただいております。ですから、この松本市の調査報告は、大体妥当なところであるかなと思いますが、ネットいじめ等の見えないところもありますので、こちらで気づいたところは学校にも指導、助言をしていきたいと思います。以上です。

教育長 分かりました。

他にご質問等ありますか。

はい、市川委員。

市川委員 いつも思うのですが、私たちは数字で聞くと惑わされてしまいます。本当は数字ではなく中身の濃さというか、そういったものを聞かせてもらえると嬉しいです。また、各学校で困っていることも聞かせていただけたらと思います。

学校指導課指導主事 困っているといいますか解消に向けてなかなか進まないのが、小学校では「遊びの中でルールを守らない」、「鬼ごっこをやっているのに勝手にルールを変えてしまう」といったもので、それに対してどのように言葉がけをすればいいのかということです。「そういうのは当たり前だよ」と思うのですが、相手のことを意識しないで普通にやってしまう、いわゆる人間形成の中の部分だと思いますが、担任としてどのように子どもに話をすればいいのかということが悩んでいるというのもありました。

それから、中学校では、まだ数字に反映されていない部分もありますが、「ネット」というところは大きく取りざたされていると感じます。こども部でもチラシを配布したと新聞報道がありました。中学3年生は卒業と同時に携帯を買うわけですが、松本市の7割以上が中学3年生で携帯を保持しているという調査もありますので、購入の際は、家庭の責任になりますが、どんな心構えで携帯を所持するかといったところ、危険性も含めて子どもたちにどう伝えて

いくかといったところも学校現場では聞こえてきています。

教育長 中学3年生は、ほぼ100%スマホを買って高校生になっていくという現状です。特に中学3年生には卒業までにスマホとの付き合い方、メディアとの付き合い方の学習をしてもらいたいと思います。その辺も生徒指導の点からも含めてぜひ検討して実施してもらいたいと思いますので、よろしくお願いします。

他にご意見等ありますか。

山田委員どうぞ。

山田委員 この報告の結果は各学校にはお返しするのでしょうか。

学校指導課主任指導主事 県への報告はしますが、学校には返しておりません。

山田委員 そのままでなくてもいいので、学校でどんな指導をしたとか、子どもの言い分がどうだったのか等、そういったことが分かれば学校でも参考になるのではないのでしょうか。

今、ネット上で東京都町田市の高校で教師の暴力が話題になっています。映像を見ると先生が悪いと思ってしまうのですが、そうってしまった経過が大事だと思うのです。

ですので、学校でどんな指導をして、生徒がどのような反応をしたかということをお伝えした方がいいのかなと思いました。

教育長 学校での事故報告は校長会や教頭会で説明していますよね。

学校指導課主任指導主事 はい。

教育長 今、山田委員からお話があったように調査結果を報告するとともに、指導のポイントや逆に困難になった状況等については指導の参考になりますので、教頭会や校長会の折に説明の資料に加えてもらいたいと思います。

学校指導課主任指導主事 分かりました。

教育長 他にご質問等ありますか。

はい。橋本委員どうぞ。

橋本委員 調査方法が「児童生徒一人ひとりへのアンケートや聞き取りによる方法」とありますが、誰が聞き取るのですか。

学校指導課主任指導主事 担任あるいは校長、教頭、養護教諭が相談窓口となっています。

橋本委員 全員に聞き取りをしているのではないのですね。

学校指導課主任指導主事 全員にはアンケートをとっております。

橋本委員 アンケートで出てきたものを担任の先生及び相談の窓口の先生がヒアリングをし、ここに挙がってきているということですね。

学校指導課主任指導主事 はい。

橋本委員 理解できました。ありがとうございます。

教育長 しかし、私たちが常に気をつけなくてはいけないのは、アンケート等にも出てこないものがあるということです。自分の思いを決して表に出さない子どもたちも沢山います。そこを担任や学校の先生方が「何かあの子は変だな」とその子どもの変化に気づいて、その子を見守っていくその姿勢というのが基本的にはすごく大事なことになると思います。

他に、ありますでしょうか。

はい、山田委員どうぞ。

山田委員 いつも気になっていたことですが、これは学校に来ている子が答えているんですよね。というのは、例えば、学校に来られない子ども、不登校の子どもたちの思いを汲み上げる方法は何かないのかなといつも思うのです。例えば小中学校の合計で166件「冷やかしからい、悪口や嫌なことを言われる。」とありますが、これが原因で学校に行けなくなった、あるいは学校を渋り始めているというようなことはどうしたら分かるのでしょうか。それが分からないと担任の先生もただアンケートをとるだけで、せっかくやるのであれば、これをきっかけに不登校の予防や傷つくことから救ってあげられる方法は見つけれないのかなといつも思っています。

学校指導課主任指導主事 例えば、いじめがあって不登校になるお子さんに対しては、2、3日休んだ時点で担任が本人と面談、あるいは家庭訪問をして状況の聞き取りを必ず行っていますので、そこは大丈夫だと思います。

山田委員 その数はここには入っていないのでしょうか。

学校指導課主任指導主事 入ってきます。

学校指導課指導主事 毎月不登校調査があり、事由についても、どういったことがきっかけかというところがありますので、この中には出てきておりません。

山田委員 分かりました。この中には出てはこないということですね。

教育長 幾つもの網をかけていくということが非常に大事なことだということですね。また、不登校等の結果も報告がいずれあると思いますので、そんな視点で

も報告を見ていたらと思っています。

他にありませんでしょうか。

それでは、特にご発言が無いようですので、報告第2号については承認することとします。

<報告第3号> 学校給食における異物混入について

東部学校給食センター課長補佐 報告第3号「学校給食における異物混入について」趣旨、内容、経過、今後の対応を説明

教育長 ご質問、ご意見等ございますか。

はい、市川委員。

市川委員 ザルで中身を確認してオーケーとしたということ、このことに対し私は非常に疑問をもっています。汁物に具が入っていますよね。直径1センチ、長さ1.8センチというとかかなり大きなねじです。どんなザルで確認したのか不明ですが、この程度の物でしたら軽く抜けてしまったのではないですか。

東部学校給食センター課長補佐 ザルでこして具材を確認させていただきましたが、その中から発見することができなかったということです。

市川委員 ということは、ザルの目が大きくて抜けたということですか。

東部学校給食センター課長補佐 ザルでこして具材を確認しましたが、見当たらなかったため、その具材を汁の中に戻したということです。

市川委員 ザルの中にひっかかっているものを戻してしまったということですか。

東部学校給食センター課長補佐 そうです。

市川委員 アルウインのサッカー場の芝の管理をしている際に、鉄くずが少しでも入っていると選手が大ケガをしてしまうため、大きな磁石で試合前に貴金属類を取る作業をしていました。

今後のためにも、何か科学的な方法でお金をかけて対策を検討したらいかがでしょうか。

教育長 いわゆる目視だけでは限界があると、そういうことですよね。

市川委員 無理ですよ。

教育長 はい。

市川委員 そういったものは、ないのでしょ。

東部学校給食センター課長補佐 方法については検討していかないといけないと思います。

教育長 福島委員どうぞ。

福島委員 今のご意見と似ていますが、今後の対応で「機械部品の点検や確認の回数を増やす」と書いてありますが、今回の件に関してはもう機械部品の紛失に気づいているわけですから、回数を増やすことが今後の対応というのはつじつまが合わないと思います。先ほどの「混入しているかもしれない」といった対応の仕方をもっと少し見直すべきではないのかということが1点。それから、「ザルに開けて確認して発見されなかったため混入がないと判断した」ということですが、この判断が間違っていたということなので、ここは本当に非常に大きな問題だったのではないかと思います。そこにはないということが分かっている、発見されないのであればどこかにそれがあるということで、100%発見されるような方法があればいいですが、100%でないとするならば給食提供というものの中止ということも考えてもよかったのかなと思いました。

教育長 学校のプールの管理と似ていると感じました。特に夏休みを中心に汚物や瓶、いろいろな物が入れられてしまいます。そういった際には、水道局と相談して、基本的には水を全部抜きます。1回の費用が30万ぐらいかかってしまいますが、安全を第一に考え2、3日、プールの使用を禁止して水を全部替え、そして決められた水温に上がるまで待ちます。

安全・安心の最優先と情報の共有というところが一番大きな今回のポイントになるかなと思います。ぜひ、その点、改めてまた全給食センターで確認をしていただけたらと思います。

他にご質問はございますか。

橋本委員、どうぞ。

橋本委員 リスク管理一般として、このような事態が生じた場合にはこういう報告をしなければというルールがあると思います。それにも関わらず、そのルールが守られずにそのまま配膳されてしまったという事象でしょうか。

東部学校給食センター課長補佐 確認をした段階で、ここにも書かせてもらっていますが「給食への混入はない」という間違っただけの判断をしてしまったということです。

橋本委員 それはルール違反をやっているわけですね。それを、こういう今後の対応策という形で丸く収めていいのでしょうか。要するに、リスク管理のためのルー

ルが決められているにも関わらず、ルールが守られなかったということであればそれに対しての当然懲罰なり何なり責任を追及する必要があるではないのでしょうか。リスク管理のためのルールを作っている、ルールが守られなければまた起こる話です。今回の場合はねじの混入でしたが、異物混入にはいろいろなことがあり得るわけです。それらを全部防御するのは何ですかというのと、事前に決められたルールです。そのルールを守らないということは、実はここが一番ゆゆしき問題ではないでしょうか。それがここの中に一切書かれていないというのがいかなものかと私は思います。

教育長           その点を、学校給食課の中で再確認をして、いずれかの段階で報告をしていただくようお願いしたいと思います。

                  それでは、報告第3号は報告を受けたこととします。

<周知事項1> 平成31年松本市成人式の開催結果について

生涯学習課       周知事項1 「平成31年松本成人式の開催結果について」説明

教育長           出席された委員さん方、何かご感想ありますでしょうか。

                  福島委員、どうぞ。

福島委員        済みません、実施状況の(5)、(6)で新成人に好評だったという、その評価ですが、この評価はどういった形で出てきたものなののでしょうか。これは実行委員の中でそういった話が出たのでしょうか。実行委員というと提供する側ですから、その人たちが好評というのは違うのかなと思います。この好評というのはどなたのご意見なののでしょうか。

生涯学習課長    好評につきましては、今、おっしゃられたとおり、新成人の実行委員会の皆さんの意見、また実行委員の皆様の友人なども含めて担当職員で聞き取りをし、まとめたものです。

教育長           福島委員がおっしゃったことは、例えば無作為で新成人にアンケートをとることも考えた方がいいということですか。

福島委員        もし、いいものにしていこうという方向性があるのであればということで、今回、周知事項で開催結果を報告するのであれば、正式なものとして総括として出すべきであり、評価としてはどうなのかと思い質問させていただきました。

教育長           他に感想等がありますか。

はい、橋本委員。

橋本委員 私自身、初めて出席しましたが、来賓が大勢いたことに何か違和感を覚え  
ました。しかし、皆さんの挨拶がとても短かったので「ホッ」としました。

要するに、成人式というのは成人のためにやるわけで、来賓が「わあっ」と  
並んでみてもしょうがないのではないかというのが、歯に衣着せぬ印象でした。

生涯学習課長 市会議員についても出席者の見直しということでお話を進めてまいりまし  
が、議会から全員出させてくれという要望があり対応しました。

教育長 ステージ上の来賓の削減については継続検討していただけたらと思います。

<周知事項2> 「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第34回公民館研究集会平成  
30年度地域づくり市民活動研究集会～」の開催について

<周知事項3> 「発掘された松本2018ー松本市遺跡発掘報告会ー」及び20周年記念  
特別講演会の開催について

教育長 それでは、予定されていた案件については終了しました。事務局から願  
いします。

事務局 12月14日は教育委員研究会、22日は定例教育委員会となりますので、  
よろしく願いいたします。

教育長 それでは、以上で第10回定例教育委員会を終了いたします。

《閉会宣言》

赤羽教育長は、平成30年度第10回松本市教育委員会を閉じる旨宣言した。

<午後4時37分閉会>

会議録調製職員

教育政策課教育政策担当係長

堀 敬子

会 議 録 署 名 委 員

福島 智子

山田 幸江

---